

2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年7月27日

上場会社名 株式会社 ODKソリューションズ 上場取引所 東
 コード番号 3839 URL <https://www.odk.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 勝根 秀和
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 作本 宜之 TEL 06-6202-0413
 四半期報告書提出予定日 2022年8月5日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	918	10.0	△195	—	△176	—	△128	—
2022年3月期第1四半期	835	80.9	△136	—	△125	—	△90	—

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 △129百万円 (—%) 2022年3月期第1四半期 △147百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	△15.62	—
2022年3月期第1四半期	△11.02	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	7,431	5,564	74.9	678.73
2022年3月期	8,030	5,735	71.4	699.53

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 5,563百万円 2022年3月期 5,734百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	5.00	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,400	16.3	570	30.6	600	17.9	340	75.1	41.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※当社業務は、大学入試業務をはじめとした年間ベースでの運用受託が中心であり、利益が下期に偏重する傾向があるため、第2四半期連結累計期間の業績予想は行っておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	8,200,000株	2022年3月期	8,200,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	2,712株	2022年3月期	2,712株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	8,197,288株	2022年3月期1Q	8,197,598株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記予想は、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。業績予想に関する事項は、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の変異株拡大により一時的に停滞がみられたものの、行動制限の緩和などにより、社会活動は正常化へと向かいました。しかし、半導体・部品供給不足や外国為替相場が円安方向に急激に変動したこと、ロシアによるウクライナ侵攻にともなうエネルギー価格高騰などから物価上昇圧力が高まり、経済活動に大きな影響を及ぼしております。

情報サービス産業におきましては、ビッグデータやAI等を活用したDX関連の需要及び電子決済やリモートワーク環境整備など感染症対策を目的とした「新しい生活様式」関連の需要を背景として、IT投資は堅調に推移しております。〔経済産業省特定サービス産業動態統計（2022年5月分確報）より〕

こうした環境下、当社グループでは、中期経営計画（2023年3月期～2025年3月期）の基本方針に「ODKグループ拡大」を掲げ、「新事業ポートフォリオの推進」「グループシナジーの創出」「株式市場での認知度向上」を本年度の重点課題として様々な施策に取り組んでおります。

その方策として、カスタマーサクセス事業では、コラボレーションツール『collabble（コラブル）』β版の提供を開始いたしました。『collabble』では、必要な相手に必要な情報を簡単に共有することで情報価値を高め、顧客と事業者によるプロダクトの価値共創や、顧客のサービス利用継続を実現できます。また、2022年7月1日に株式会社ポトスへカスタマーサクセス事業に関する権利義務を承継いたしました。今後、同社は急成長する市場に対して、スピーディーに事業展開を行い、長期的な利益の拡大や市場でのポジションの確立を目指してまいります。

当社単体としては、中期経営計画の基本方針に「データビジネスによる新たな価値の創造」を掲げ、「アライアンス・M&Aの推進」「次世代サービスの創出」「データビジネス基礎の構築」を本年度の重点課題として取り組んでおります。

その方策として、『UCARO®』を軸とした成長戦略により、データビジネスによる新たな価値の創造を継続しております。2022年7月1日には、『UCARO®』との新たなシナジー創出を目的に株式会社クシムが提供する人材育成サポート事業を譲り受けました。なお、同社グループはブロックチェーンに関する技術やネットワークを有しており、連携を深めることで当該技術を『UCARO®』上のデータへ活用したいと考えております。

また、2022年5月25日付にて、『JOBTV』を展開する株式会社ベクトルとの業務提携契約を締結しております。キャリア形成を支援するコンテンツの提供や新規サービスの共同検討を通じて、両社の企業価値向上に繋げてまいります。

その他、QR管理による入試関連業務の効率化を目的とした「QRコードソリューション」や「アンケート」機能を追加いたしました。

今後も『UCARO®』の様々なオプション機能やデータ連携を積極的に行い、サービス提供期間の拡張をすすめてまいります。なお、『UCARO®』の導入校数は、前年より6校増えて94校に拡大しております。

当第1四半期連結累計期間における連結業績は、前第2四半期連結会計期間末に連結子会社となった株式会社ECS（以下、「ECS」という。）の売上が寄与したほか、大学入試業務等の売上認識等により、売上高は918,855千円（前年同四半期比 10.0%増）となりました。また、退職給付費用の増加や新規事業に係るブランディング費用の増加等により、営業損失は195,415千円（前年同四半期は営業損失136,424千円）となりました。また、受取配当金の増加等により経常損失は176,217千円（同 経常損失125,727千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は128,068千円（同 親会社株主に帰属する四半期純損失90,363千円）となりました。なお、前連結会計年度から連結子会社となったECSの決算期を1月31日から3月31日に変更いたしました。当連結会計年度は決算期変更の経過期間となることから、2022年2月1日から2022年6月30日までの5カ月間を連結対象期間とした変則的な決算となっておりますが、損益への影響は軽微であります。

当社グループの事業は、大学入試業務をはじめとした利益が第4四半期連結会計期間にかけて増加する傾向にあるため、第1四半期連結累計期間の売上高は相対的に少なくなる傾向にあります。しかし、人件費等の固定費は四半期ごとに変動する性質ではないため、結果として、第1四半期連結累計期間の利益が、他の四半期に比べ極めて低い水準にとどまり、例年第3四半期まで損益はマイナスであります。通期では当該マイナスは解消されております。

売上高の内訳は次のとおりであります。

<システム運用>

前第2四半期連結会計期間末に連結子会社となったECSの売上が寄与したほか、大学入試業務等の売上認識等により、874,082千円（前年同四半期比 14.8%増）となりました。

<システム開発及び保守>

証券業務におけるマイナンバー関連のシステム開発や学研グループ会社向けのシステム開発の剥落等により、33,152千円（同 51.5%減）となりました。

<機械販売>

医療システム用タブレット製品の販売等により、11,620千円(同88.9%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べて598,849千円減の7,431,237千円となりました。これは主に売上債権の減少によるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べて428,366千円減の1,866,478千円となりました。これは主に未払法人税等の納付による減少であります。

純資産は、前連結会計年度末と比べて170,483千円減の5,564,759千円となりました。これは主に利益剰余金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績は、概ね当初予想どおりの推移であり、通期連結業績予想につきましては、2022年4月28日に公表いたしました連結業績予想と変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,527,332	3,491,393
売掛金及び契約資産	2,234,900	546,232
有価証券	101,149	100,736
商品	-	49,500
仕掛品	9,713	2,473
その他	108,451	162,766
貸倒引当金	△12,934	△2,778
流動資産合計	4,968,613	4,350,324
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	111,196	103,494
工具、器具及び備品（純額）	142,228	134,562
リース資産（純額）	221,769	199,335
有形固定資産合計	475,195	437,393
無形固定資産		
のれん	51,367	50,015
ソフトウェア	739,754	755,305
ソフトウェア仮勘定	172,340	201,489
その他	6,047	5,961
無形固定資産合計	969,509	1,012,772
投資その他の資産		
投資有価証券	1,029,402	1,027,495
繰延税金資産	238,501	299,420
差入保証金	174,087	173,576
その他	174,778	130,255
投資その他の資産合計	1,616,768	1,630,747
固定資産合計	3,061,473	3,080,913
資産合計	8,030,087	7,431,237

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	314,302	170,717
短期借入金	147,070	141,480
リース債務	96,930	85,658
未払金	71,138	67,822
未払費用	93,422	137,350
未払法人税等	189,501	21,467
賞与引当金	139,257	208,863
その他	259,847	137,717
流動負債合計	1,311,471	971,077
固定負債		
長期借入金	331,708	294,620
リース債務	161,343	144,734
退職給付に係る負債	452,167	456,047
その他	38,154	—
固定負債合計	983,373	895,401
負債合計	2,294,844	1,866,478
純資産の部		
株主資本		
資本金	637,200	637,200
資本剰余金	695,140	695,140
利益剰余金	4,248,937	4,079,882
自己株式	△306	△306
株主資本合計	5,580,971	5,411,916
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	153,271	151,843
その他の包括利益累計額合計	153,271	151,843
非支配株主持分	1,000	1,000
純資産合計	5,735,242	5,564,759
負債純資産合計	8,030,087	7,431,237

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	835,702	918,855
売上原価	709,230	793,309
売上総利益	126,471	125,545
販売費及び一般管理費	262,895	320,960
営業損失(△)	△136,424	△195,415
営業外収益		
受取利息	208	109
受取配当金	13,703	15,197
受取手数料	291	254
保険解約返戻金	-	4,528
その他	100	482
営業外収益合計	14,304	20,571
営業外費用		
支払利息	1,549	1,230
株式報酬費用消滅損	2,058	-
その他	-	143
営業外費用合計	3,608	1,373
経常損失(△)	△125,727	△176,217
特別損失		
固定資産除却損	1,318	3,146
特別損失合計	1,318	3,146
税金等調整前四半期純損失(△)	△127,046	△179,363
法人税、住民税及び事業税	5,555	18,476
法人税等調整額	△42,238	△69,771
法人税等合計	△36,683	△51,294
四半期純損失(△)	△90,363	△128,068
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△90,363	△128,068

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純損失(△)	△90,363	△128,068
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△56,751	△1,427
その他の包括利益合計	△56,751	△1,427
四半期包括利益	△147,114	△129,496
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△147,114	△129,496
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表への影響はありません。